

第1・2学年 体育科学習指導案

令和7年9月19日（金）

授業者 坂口健太郎

1 単元名 せんきょうランドへいこう（表現リズムあそび）

2 授業づくりの構想

（1）運動の持つ特性

低学年の表現リズム遊びは、「表現遊び」及び「リズム遊び」で内容が構成され、身近な題材の特徴を捉えてそのものになりきって全身の動きで表現したり、軽快なリズムの音楽に乗って踊ったりする楽しさに触れることが出来る運動遊びであるとともに、友達と様々な動きを見付けて踊ったり、みんなで調子を合わせて踊ったりする楽しさに触れることが出来る運動遊びである。

この運動は、表現リズム遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、表現遊びとリズム遊びの両方の遊びを豊かに体験する中で、即興的な身体表現能力やリズムに乗って踊る能力、コミュニケーション能力などを培えるようにし、中学年の表現運動の学習につなげていくことが求められる運動遊びである。

表現リズム遊びを楽しく行う中で、簡単な踊り方を工夫するとともに、誰とでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりすることなどができる運動である。

（2）児童の実態

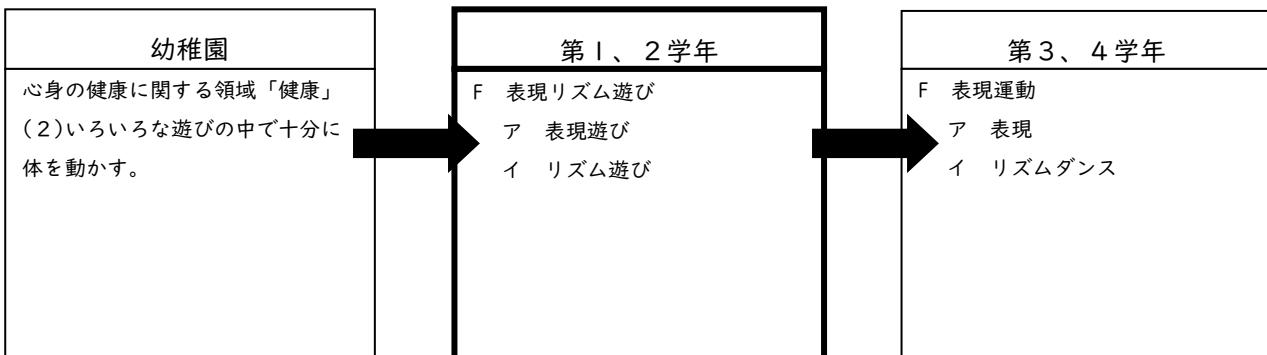
本校は小規模校であり、カリキュラムマネジメントを行いながら低学年（1年生13名、2年生14名）で合同体育を行っている。そのため、異学年同士の仲も良い。

本校の児童は、事前アンケートによると91.7%が「体育の授業が好き」と肯定的に答えているなど、運動に対して意欲的である。一方で「音楽に合わせて踊ることが好き」では、29.1%、「表現運動でなりきることが好き」が20.8%と、苦手意識がある様子も見られた。

また、児童は「いきものランド」を学習することで、身近な生き物の題材の特徴を捉えてそのものになりきって表現をすることを経験している。児童の多くは、自分のイメージを膨らませて、全身で動くことができている。

一方で、即興的に身近な題材の特徴を捉えて動けなかったり、手足の先まで動かせず小さな動きになっていたりする児童もいる。その児童は自分の想像を膨らませて表現するのではなく、正解を求めるとして友達の動きを真似している傾向が見られる。

（3）運動（学習内容）の系統性



（4）単元の目標

【知識及び技能】

表現遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、身近な題材の特徴を捉え、そのものになりきって全身で即興的に踊ることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

身近な題材の特徴を捉えて踊る簡単な踊り方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】

表現遊びに進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりすることができるようになる。

(5) 学びへの働きかけ (指導の意図)

1 つくる／はぐくむ (=学習の個性化)

○時間と場の設定 「活動の時間を確保する」

- ・活動時間を多く確保するために、学習のルーティーン化と場所の固定を行う。まず、学習のルーティーン化では、全時間において、流れを一定にすることで、見通しをもって取り組めるようにする。また、場所を固定化しておくことで、グループの友達の動きを見やすくしたり、動きを大きくしすぎて、收拾がつかなくなることを防いだりする。

○教師の問いかけ

- ・どのような動きが見ている人によく伝わるかという中心的な課題を設定し、低学年児童に伝わるように見る視点「大きさ」「全身（指先・足先）」「速さ」の3つの視点を与えた上で、実際に動き、良い動きを共有する中で、表現のよい動きを児童が見つけられるようにする。また、児童が課題を解決するために、類似の動きを提示し、経験する中で「どこを動かせばよいか」というような意図的な問いかけの工夫も行う。また、表現中には動作のオノマトペや「大変だ！○○だ！」などの教師による口伴奏で、単調にならないように工夫し、イメージを膨らませるようにする。

2 あつまり、ともに、つながる (=協同的な学び)

○単元構成「せんきょうランド」というストーリー仕立ての単元構成・グループ分け

- ・オリエンテーションにて、単元を通して「せんきょうランドを目指す中でたくさんの乗り物に乗ろう！」という単元のゴールを設定し、児童が見通しをもてるようになる。そして、即興的に踊る中で、表現の楽しさを友達と共有する学習にしたい。また、1・2年合同実施という観点から、第2学年「ゆうえん地に行こう！」の教材を交え単元を構成する。
- ・児童をつなぐ支援として、縦割り班4～5人グループを活用し、学年を問わず良いところを真似したり、イメージを共有したりするなど交流の場を設ける。協力して取り組んでいくことで、運動や表現に苦手意識のある児童に対する支援を行う。

○低学年の実態に応じたICT機器と準教科書「わたしたちのたいいく1・2」の活用

- ・教師が良い動きを撮影し、共有の場面で見せておくことで、動きの良さや多様性を広げながらよりよい表現遊びにつながるように活用する。イメージを持たせるための挿絵に「わたしたちのたいいく」を活用する。また、学習の振り返りでは、「わたしたちのたいいく」の文言を活用したワークシートを準備し、記号（◎、○、△）で書き残すようにしていく。

3 誰でもアクセスできる (=指導の個別化)

○易しい体育の実現

- ・イメージを膨らませられるように、挿絵を用意したり、学校司書と連携して乗り物の本を読書の時間に紹介したりする。
- ・表現CDを活用することで、音楽によるリズム感や表現意欲を醸成させ、子どものイメージを膨らませていく。
- ・自己表現が難しい児童には、友達や支援員の鏡っ子運動から始め、表現の楽しさに触れさせる。
- ・体の動かし方を認知づらい児童に向けて、準教科書や3つの視点に応じた挿絵を用意しておき、視覚的に支援していく。また、実際に友達の良い動きを見る時間を設ける。

○導入のリズムダンスにおけるスマールステップ

- ・導入の5分間のリズムダンスでは、音楽に合わせて一定の動きをしていく。全て同じではなく、真似っこタイムでは、少しづつ前時までの学習を取り入れるなどしてスマールステップで内容を充実させていきたい。

(6) 単元の「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方

関わり	低学年	具体的な活動・姿
する	<ul style="list-style-type: none">・身近な題材の特徴を捉え、そのものになりきって全身で即興的に踊る。<知識及び技能ア>・軽快なリズムの音楽に乗って弾んで踊ったり、友達と調子を合わせたりして即興的に踊る。<知識及び技能イ>・身近な題材の特徴を捉えて踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする表現遊びやリズム遊びの簡単な踊り方を工夫する。<思考力、判断力、表現力等ア>・題材になりきって踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする運動遊びに進んで取り組む。<学びに向かう力、人間性等ア>	<ul style="list-style-type: none">・リズムに合わせて真似っこ・反対っこなどで踊る。・なりきって踊る。・好きな乗り物を選んで踊る。・即興的に踊る。・友達のよい動きを見る。・グループで教え合い、進んで活動する。

みる	・よい動きを見つける。<思考力、判断力、表現力等イ>	・友達と見合って、よい動きを見つける。 ・学習の記録をわたしたちの体育に書く。
支える	・考えたことを友達に伝える。<思考力、判断力、表現力等イ> ・表現遊びやリズム遊びに取り組む際に、誰とでも仲良くする。<学びに向かう力、人間性等イ> ・表現リズム遊びをする場の設定や使った用具の片付けを友達と一緒にする。<学びに向かう力、人間性等ウ> ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊る。<学びに向かう力、人間性等エ>	・振り返りの時間に、表現のポイントや友達の動きの良さを発表する。 ・撮影やグループワークを協力して行う。 ・グループの友達のよさを認める。
知る	・表現遊びでは、その行い方を知る。<知識及び技能ア> ・リズム遊びでは、その行い方を知る。<知識及び技能イ>	・なりきって全身で即興的に踊る。 ・リズムにのって踊る。

(7) 単元の流れ及び評価の計画

	1	2	3	4 (本時)	5	6																					
主なねらい	学習の進め方を理解しよう。	乗り物になりきって即興的に踊ろう。			学習を生かそう。																						
核となる学習内容	・学習のねらいと進め方 ・問い合わせ	「陸上の乗り物」	「水上や空の乗り物」	「工事現場の乗り物」	「遊園地の乗り物」	自分が選ぶお気に入りの乗り物																					
		<やってみよう> リズムダンス、真似っこタイム、反対っこタイム																									
		活動①「乗り物紹介タイム」 ・今日の乗り物の確認 ・イメージの共有 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>・車</td> <td>・船</td> <td>・ショベルカー</td> <td>・ジェットコースター</td> </tr> <tr> <td>・バス</td> <td>・ヨット</td> <td>・ダンプカー</td> <td>・コーヒーカップ</td> </tr> <tr> <td>・バイク</td> <td>・ヘリコプター</td> <td>・クレーン車</td> <td>・ブルドーザー</td> </tr> <tr> <td>・機関車</td> <td>・飛行機</td> <td>・ブランコ</td> <td>・メリーゴーラウンド</td> </tr> <tr> <td>・新幹線</td> <td>・ロケット</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 活動②「もっと乗りタイム」 ・グループで動きをもっと良くしよう ・即興的な変化						・車	・船	・ショベルカー	・ジェットコースター	・バス	・ヨット	・ダンプカー	・コーヒーカップ	・バイク	・ヘリコプター	・クレーン車	・ブルドーザー	・機関車	・飛行機	・ブランコ	・メリーゴーラウンド	・新幹線	・ロケット		
・車	・船	・ショベルカー	・ジェットコースター																								
・バス	・ヨット	・ダンプカー	・コーヒーカップ																								
・バイク	・ヘリコプター	・クレーン車	・ブルドーザー																								
・機関車	・飛行機	・ブランコ	・メリーゴーラウンド																								
・新幹線	・ロケット																										
		振り返り (グループ → 全体)																									
評価の計画	知		① (観察・ICT)	① (観察・ICT)	② (観察・ICT)																						
	思			① (観察)		② (観察・感想)	② (観察)																				
	態	① (観察)	③ (観察)				② (観察)																				

具体的な評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①表現遊びの行い方を知っている。 ②身近な題材の特徴を捉え、そのものになりきって全身で即興的に踊ることができる。	①身近な題材の特徴を捉えて踊る表現遊びの簡単な踊り方を工夫している。 ②よい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。	①表現遊びに進んで取り組もうとしている。 ②誰とでも仲良く踊ろうとしている。 ③場の安全に気を付けている。

3 本時の学習 (4/6)

(1) 本時の目標

- ・身近な題材の特徴を捉え、そのものになりきって全身で即興的に踊ることができる。【知識及び技能】
- ・よい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えることができる。【思考力、判断力、表現力等】
- ・表現遊びに進んで取り組み、誰とでも仲良く踊ろうとすることができる。【学びに向かう力、人間性等】

(2) 準備 わたしたちの体育 ワークシート iPad 大型モニター

(3) 展開

学習活動	教師の支援 (○、吹き出し) と評価★
1 挨拶をし、やってみよう (ダンスタイム) で予備運動を行う。(5分) ・リズムダンス ・真似っこタイム ・反対っこタイム ・前時の復習タイム 2 本時のめあてを確認する。(5分) ○工事現場での働く乗り物ってどんな感じだろう。 力強そう。 動きがゆっくり。 動きが大きい。 物を持つときは指先に力を入れればいいのだな。【する】 3 運動のポイントを確認し、全体で「乗り物紹介タイム」をする。(5分) ○ショベルカー ショベルカー ガガガガガ こんな表現の仕方をしている友達がいたよ。 どうやって動けばいいのかな。 友達の動きのポイントを見付けよう。 もっと指の先まで力を入れてみて。【支】 動きの早さはどのくらいがいいのだろう。【見る】 ゆっくり大きく動けばいいんだな。【する】 ひじをまげたほうがいいのかな。【する】 ○ダンプカー どんな仕事をするのかな。 背中の荷物はどうやっておろしたらよいかな。 手や足はどうしたらよいのかな。【見る】 みんなで協力して工事を進めたいんじゃないかな。【支】 背中の荷物を下ろすとき動きの速さは最初はゆっくり、最後は一気に下ろすといいんじゃないかな。【支】 4 やってみた感じを話し合う。(5分) 工事現場の車両になりきってみてどうだったかな。 動きのイメージがちょっと思いつかないから友達聞いてみたい。【する】 工事現場の車両になりきるには大きくゆっくりの早さで、手や指の先まで力を入れると力強い動きになるんだな。【知】 5 つかんだコツを生かして、グループで「もっと乗りタイム」をする。(15分) ○○が ○○しているところ ともだちと ちがう うごきを してみよう。 「ショベルカーが」 「おしごとを して いるよ。」 「たいへんだ! ○○だ!」 「いいへん! ○○だ!」 だんだん力が入ったのが分かるよ。【見】 もっとどっしりと動くために膝をまげてやってみたら。【支】 みんなで協力しよう。【する】 僕がショベルカーになってダンプカーに荷物を乗せるよ。【支・する】 6 ふり返りタイム (10分) 「わたしたちのたいいく」をもとに、自分や友だちができるようになったことを話し合い、ふり返りを記入する。 工事現場の車両になりきって動くために3つのポイントが大切だと思った。 友だちのアドバイスがわかりやすかった。 違う乗り物にも今日の動きが使えるかな。 次は自分の課題にあった練習をしてみよう。 ○モニターに本単元の流れを掲示し、学習の見通しを持たせる。 ○工事現場車両のイラストを提示し、どのような動きがいいのかという点に着目させる。 ○表現用CD等の音や教師の口伴奏で児童のイメージを膨らませる。 ○よい動きをしている児童に対して、どのような感じで動いているのか尋ね、言語化できるように支援する。 ★【思考・判断・表現】 ○友達にアドバイスしたり、励ましの声かけをしたりしている児童や意欲的に運動に取り組んでいる児童へ積極的に賞賛する。 ○工事現場の乗り物のイメージができるように助言する。 ○どんなことを考えていたのか尋ね、児童に考えさせるよう促す。必要に応じて教師がタブレットで撮影したものを活用する。 ○感じを出し合い、自分と共通する感じや異なる感じをもっている友だちがいることに気づかせる。 ○見本をした児童にどんな所を工夫しているのか聞き、ポイントや感覚を言語化していく。 ★工事現場の車両の特徴を捉え、そのものになりきって全身で即興的に踊っている。【知識・技能】 ○グループで取り組み、友達とアドバイスし合いながら3つのポイントを意識して表現するように促す。 ★【主体的に学習に取り組む態度】 ○急変する場面を即興的に踊ることができるように、大雨や材料不足などの状況を「たいへんだ! ○○だ!」と伝え、動作化を促す。 ○本時のめあてに対する振り返りを行い、グループの友達とよさを共有した後、全体でも共有する。 ○次時のめあてを確認する。	